

## 安全データシート (SDS)

### 1 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

製品名	ダニ (Df) 抽出物 (免疫用)
	ダニ (Dp) 抽出物 (免疫用)
製品コード	10108、10110

#### 会社情報

会社名	ITEA 株式会社 東京環境アレルギー研究所
担当部署	品質管理部
住所	〒113-0001 東京都文京区白山 1-33-18 白山 NT ビル
電話番号	03-3526-2031
Fax 番号	03-3526-2032
電子メールアドレス	reag-info@itea.jp
緊急連絡電話番号	03-3526-2031

#### 推奨用途及び使用上の制限

研究用試薬

### 2 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 物理化学的危険性

分類できない

##### 健康に対する有害性

分類できない

##### 環境に対する有害性

分類できない

#### GHS ラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	該当しない
注意書き	該当しない

#### 他の危険有害性

情報なし

#### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし

### 3 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

混合物

### 組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
精製水	7732-18-5	-	≤ 95.25
Der f 1 蛋白質 (#10108) / Der p 1 蛋白質 (#10110) その他培地由来成分	-	-	≥ 3.72
塩化ナトリウム	7647-14-5	1-236	≤ 0.74
りん酸水素二ナトリウム七水和物	7782-85-6	1-497	≤ 0.25
リン酸カリウム	7778-77-0	1-452	≤ 0.02
塩化カリウム	7447-40-7	1-228	≤ 0.02

## 4 応急措置

### ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	大量の水で洗うこと。異常が生じた場合には、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

### 予想される急性症状

本製品に接触したり吸入した場合、眼、皮膚や気道に刺激性を生じたりアレルギー反応を生じる可能性がある。

### 遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

### 応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

### 医師に対する特別な注意事項

情報なし

## 5 火災時の措置

### 適切な消火剤

周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

### 使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし。

### 特有の危険有害性

情報なし

### 特有の消火方法

消火活動は風上から行う。  
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

---

## 6 漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具（「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

### 環境に対する注意事項

周辺環境に影響を与える可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと（項目7、10参照）。液体吸収剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

---

## 7 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
接触回避	直射日光、高温多湿を避ける。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

### 保管

技術的対策	2～8℃を維持できるバイオメディカルクーラーで保管する。
混触禁止物質	情報なし
保管条件	直射日光を避け、2～8℃で保管する。
容器包装材料	ガラス、高密度ポリエチレン

---

## 8 ばく露防止及び保護措置

---

### 管理濃度

設定されていない

### 保護具

呼吸用保護具 必要に応じて保護マスクを着用する。

手の保護具	ゴム手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣を着用する。

## 9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	薄茶色液体（凍結溶液）
臭い	情報なし
臭いの閾値	情報なし
pH	7.2～7.6
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	情報なし
溶解度	水に溶解する。
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

## 10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光、高温多湿
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11 有害性情報

### 製品の有害性情報

情報なし

### 成分の有害性情報

情報なし

## 12 環境影響情報

### 製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

**成分の環境影響情報**

情報なし

---

**13 廃棄上の注意**

---

**残余廃棄物**

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
再燃焼装置および脱塵装置等を備えた化学用焼却炉であれば、可燃性溶剤、重油等の燃料と共に燃焼処理できる。施設がない等の理由で処理できない場合は、都道府県の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

**汚染容器及び包装**

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した上、リサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

---

**14 輸送上の注意**

---

**国際規制**

陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMOの規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBCコード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

**国内規制**

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号  
該当しない

**特別の安全対策：**

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

**15 適用法令**

---

該当しない

---

**16 その他の情報**

---

参考文献

ITEA 株式会社 東京環境アレルギー研究所提供資料

NITE GHS 分類結果一覧（2018）

日本産業衛生学会（2017）許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2018) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等があった場合には適宜改訂を行います。また、注意事項等は通常の見扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

作成日 2023年10月18日

改定日 2024年3月25日

ver2024\_2.0